



原田譲 白瓷展 キリスト教寓意譚
2015. 4.11 SAT - 21 TUE

GALLERY
うつわノート

料金後納
ゆうメール

原田 譲 白瓷展 キリスト教寓意譚

2015年4月11日(土)～21日(火) 会期中無休

営業時間 11:00～18:00 作家在廊日 4月11日(土)・12日(日)

原田譲さんの作る器は、中国で1000年前に作られた「定窯」と呼ばれる白瓷をベースにしています。器胎は薄く緊張感のあるフォルムで、その多くには印花と呼ばれる技法で施された紋様が見られます。その柄は中国で吉祥とされる花や動物が描かれ、幸福・繁栄・長寿などの願いが籠められていました。

本展ではこの中国紋様に加えて、キリスト教美術に見られるモチーフを描いた新作が並びます。欧州ではキリスト教布教の隠喩となる様々な意匠を使い、ある時は神話も取り込みながら、西洋美術の大きな下敷きを築いてきました。例えばベスティアリと呼ばれる動物寓意譚は、ヨーロッパで広く流布した様々な動物、鳥、魚、植物、鉱物の特徴とキリスト教的教訓とを結びつけ、そこに寓意や諷刺を込めた内容となっています。それはキリスト教徒の道徳的教化、布教に大きな役割を果たしました。

新作の発意は、原田さんがクリスチャンの家庭で育ったという背景もありますが、宗教的な意味合いよりも、むしろ日本の花鳥画の風流を愉しむのと同じような感覚で、東西文化の融合した世界観に触れて頂ければと思います。東洋白瓷のキャンパスに描かれた西洋の物語を、どうぞご覧ください。

店主

プロフィール：

1981年 茨城県土浦にて育つ
2007年 茨城県窯業指導所 成形科 修了
2009年 茨城県城里町に築窯
2015年 現在同地に制作

表紙の写真：

白瓷輪花盤（イエスの誕生）

- ①牛とロバ：幼子イエスを見守る役 ②子羊：イエス ③蝶：生死復活
④イナゴ：群衆 ⑤スマレ：謙遜の徳 ⑥林檎：原罪と救済
⑦サクランボ：天国の果実 ⑧サンゴ：御守り ⑨シュロ：不滅・勝利

ギャラリー うつわノート

埼玉県川越市小仙波町1-7-6

TEL 049-298-8715
MAIL utsuwanote@gmail.com



電車：川越駅(東武東上線・JR)より徒歩25分
本川越駅(西武新宿線)より徒歩20分
バス：川越駅東口3番乗り場
[小江戸名所めぐり]乗車～[喜多院前]下車
車：専用駐車場有(25～28番)

白瓷盤：イエスの受難



ライオン・林檎・卵・雲・月桂樹・蜂・蝶・30枚の銀貨

白瓷輪花碗：マグダラのマリア



ドクロ・白テン・うさぎ・アイリス

白瓷碗：イエスの洗礼



ラクダ・子羊・鳩・ホタテ・イナゴ・蜂・石榴・雲